第１回田川市新庁舎整備基本構想検討委員会会議録

総務部　財産活用課

日　　時		令和７年１１月７日（金）　１４：００～１５：４０
場　　所		田川市役所　庁議室
出席者 （敬称略）	委　　員	依田 浩敏（会長）、津島 潔（副会長）、伊藤 基樹、寺田 未来（欠席）、中田 ヨンジュ、永井 かほる、平畑 尚史、二場 浩隆、渕上 貴代、安永 彰、四本 直良、米安 真由美（欠席）
	事　務　局	村上市長、平原総務部長、渡辺財産活用課長、飯野財産活用課長補佐兼財産活用係長、園田事務主査
	山 下 設 計	茂木、久保

１　会議録

⑴　開会

事務局より開会のあいさつ。

⑵　辞令交付

⑶　市長あいさつ

⑷　委員紹介

各委員自己紹介

⑸　事務局、委託業者紹介

事務局担当者および委託業者自己紹介

⑹　委員会設置要綱の説明及び会長、副会長の選任

事務局より田川市新庁舎整備基本構想検討委員会設置要綱について説明。

会長、副会長の互選を行った結果、以下のとおり決定した。

ア　会　長　依田 浩敏　委員

イ　副会長　津島 潔　　委員

⑺　諮問書の交付

市長より依田会長へ諮問書を交付

⑻　申し合わせ事項の確認

事 務 局　　申し合わせ事項を確認する。会議は原則公開とし、会議録はホームページ上で公開される。協議時間は概ね２時間以内とする。開催通知はメール又は郵送とし、欠席する場合は前日までに事務局に連絡をする。ただし、緊急

の場合は当日の連絡でも可とする。欠席する場合の代理出席は不要である。

会　　長　　申し合わせ事項について質疑はあるか。

委　　員　　質疑無し。

⑼　委員会のスケジュール

事 務 局　　委員会のスケジュールを確認する。新庁舎の建設は、基本構想、基本計画、基本設計、実施設計、建設工事の流れで進め、本委員会は基本構想の策定に関わる委員会である。基本構想（案）を令和７年度３月までに作成し、その後パブリックコメントなどを実施する予定である。

会　　長　　委員会のスケジュールについて質疑はあるか。

委　　員　　質疑無し。

⑽　基本構想（案）第１章について

事 務 局　　基本構想（案）第１章 田川市役所の現状と課題の整理について説明。

田川市役所は昭和４１年に建設され、老朽化や狭あい化など様々な課題を抱えている。特に耐震性が不足している点が深刻な課題であり、令和元年度、２年度に耐震診断を実施した結果、「地震の振動及び衝撃に対して倒壊、又は崩壊する危険性がある」とされるIs 値が０．３以上０．６未満の箇所が複数個所確認されている。このほか、老朽化等様々な問題がある。

会　　長　　基本構想（案）第１章について質疑はあるか。

委　　員　　質疑無し。

事 務 局　　質疑は本委員会以降も随時受け付ける。事務局への電話や次回の検討委員会の際でも構わない。

⑾　基本構想（案）第２章について

事 務 局　　基本構想（案）第２章 新庁舎建設の必要性について説明。

第１章で示している通り、現庁舎の最も深刻な課題は耐震性の不足であるが、耐震性を確保するために耐震化の検討を実施した。耐震化には耐震工法と制振工法の２つの工法が考えられる。耐震改修等を行うには仮庁舎が必要となることから、仮庁舎の建設地として旧市立病院敷と旧中央中学校敷を選定し、４つの案の概算工事費を算出した。いずれの案も高額となり、耐震壁などの構造的な補強により執務室が分断されるなどの課題がある。また、耐震改修等を実施したとしても、耐震性の不足以外の課題の根本的な

解決は不可能であることから、新庁舎は建替新築が適切であると考える。

会　　長　　基本構想（案）第２章について質疑はあるか。

委　　員　　仮庁舎の建設位置と耐震性の関連が不明である。

事 務 局　　耐震改修等を行う場合は、仮庁舎が必要であり、現実的に仮庁舎が建設可能な候補地を選定している。候補地によって事業費が異なるため、２パターン検討している。

委　　員　　新庁舎の候補地はこの２つか。

事 務 局　　新庁舎の候補地については、後日検討していただくことになる。

今後の基本構想（案）の項目について説明する。５章で候補地について詳細に説明し、審議していただく予定である。

⑿　その他

会　　長　　今後数回に渡って委員会が開催される。本日開催された第１回検討委員会を踏まえ、各委員より一言いただきたい。

委　　員　　新庁舎を新築することは宜しいかと思う。６０年前とは状況も異なるので、庁舎規模はもう少し小さくできるのではと思う。

委　　員　　現庁舎も限界が近く、建替が必要なことは理解した。分散化解消のため機能を集めると庁舎規模も大きくなるようにも思うが、今後の議論としたい。

委　　員　　高齢者にとっては特にトイレが使いにくいと感じる。市民が利用しやすい庁舎に生まれ変わってほしい。

委　　員　　ユニバーサルデザインにより子どもも高齢者も使い易く変わってほしい。

委　　員　　宇土市役所は熊本地震で１階がつぶれてしまった。益城も大変な状況だった。発災時に機能しなければならない庁舎の耐震性はとても重要。

委　　員　　田川市の財政状況が心配される。

委　　員　　６０年が経過して耐震性や防災性に対する考え方も変わってきている。時代が変わってきているので、庁舎にも様々な機能を取り入れてほしい。

委　　員　　西・東中学校の新築計画で２年間、検討委員会に入っていたが、最終的に答申した場所と異なる場所が計画地になっていた。長く議論したことがあまり身にならなかった経験となったが、今回はそのようなことのないようにお願いしたい。

委　　員　　現庁舎は薄暗く設備も古い印象。それを変えていける新庁舎のあり方を

期待したい。

会　　長　　庁舎が安全で防災拠点として機能すること、ワンストップで利便性のよい市民サービスの提供、職員も働きやすいウェルネスオフィスの実現、ZEBをはじめとする脱炭素に対する配慮、市外からも見に来るような市の顔となる庁舎、新技術や新しい考え方を取り入れる等、財政面に配慮しつつ、良い庁舎のあり方を模索できればと思う。

会　　長　　事務局から他にないか。

事 務 局　　第２回検討委員会は１２月１２日（金）１４：００ からとする。第３回検討委員会の候補日は１月１６日（金）もしくは２３日（金）である。決まり次第、連絡する。

会　　長　　資料は事前に共有すること。

事 務 局　　承知した。

会　　長　　以上で第１回田川市新庁舎整備基本構想検討委員会は終了する。